

第2期（令和4年度～令和8年度）

東昌校区まちづくりプラン

【地域振興計画】

目 標

「笑顔と強い絆でつなぐ 緑豊かな 東昌」



台地に広がる山迫茶団地

乗用型大型茶摘採機

東昌校区まちづくり協議会

所在地：〒899-2705 鹿児島市直木町 4307 番地1

TEL/FAX：099-278-2535

E-mail：qqme2yr9k@gaea.ocn.ne.jp

【 目 次 】

I	校区の概要	P-1
II	校区の位置	P-1
III	まちづくり協議会の組織体系図	P-2
IV	まちづくりの目標・基本方針	P-3
	1 目 標	
	2 基本方針	
V	校区の現状課題と改善策	P-4~5
	1 まちづくり部会	
	2 安心安全部会	
	3 福祉部会	
	4 青少年育成部会	
	5 社会体育部会	
	6 社会教育部会	
VI	まちづくりの活動体系図	P-6
VII	まちづくりの各部会活動計画	P-7~9
VIII	関係資料	P-10~18
	1 第2期まちづくりプラン提言	
	2 第2期まちづくりプラン策定委員・活動経過	
	3 校区の人口・世帯数・高齢化率	
	4 東昌小学校の学級・児童数	
	5 校区の自治組織	
	6 校区の主な施設・史跡・伝統芸能等	
	7 児童の将来へのメッセージ	

I 校区の概要

校区のあゆみ

明治 22 年町村制度により大字の上谷口、福山、直木、入佐、春山、石谷の 6 カ村が統合され、上伊集院村が誕生した。

昭和 35 年町制施行により松元町に改称され、また平成 16 年 11 月に鹿児島市との合併により鹿児島市に改称された。

東昌校区は、松元地域の南西に位置し、古くから高原台地と渓谷を活かした、水稲とお茶の栽培が行われている農業振興地域である。

特に高原台地はお茶の栽培に適しており、松元ダムを利用した防霜対策により品質の高いお茶が生産されている。渓谷の沢をなす流域では水稲が生産されている。

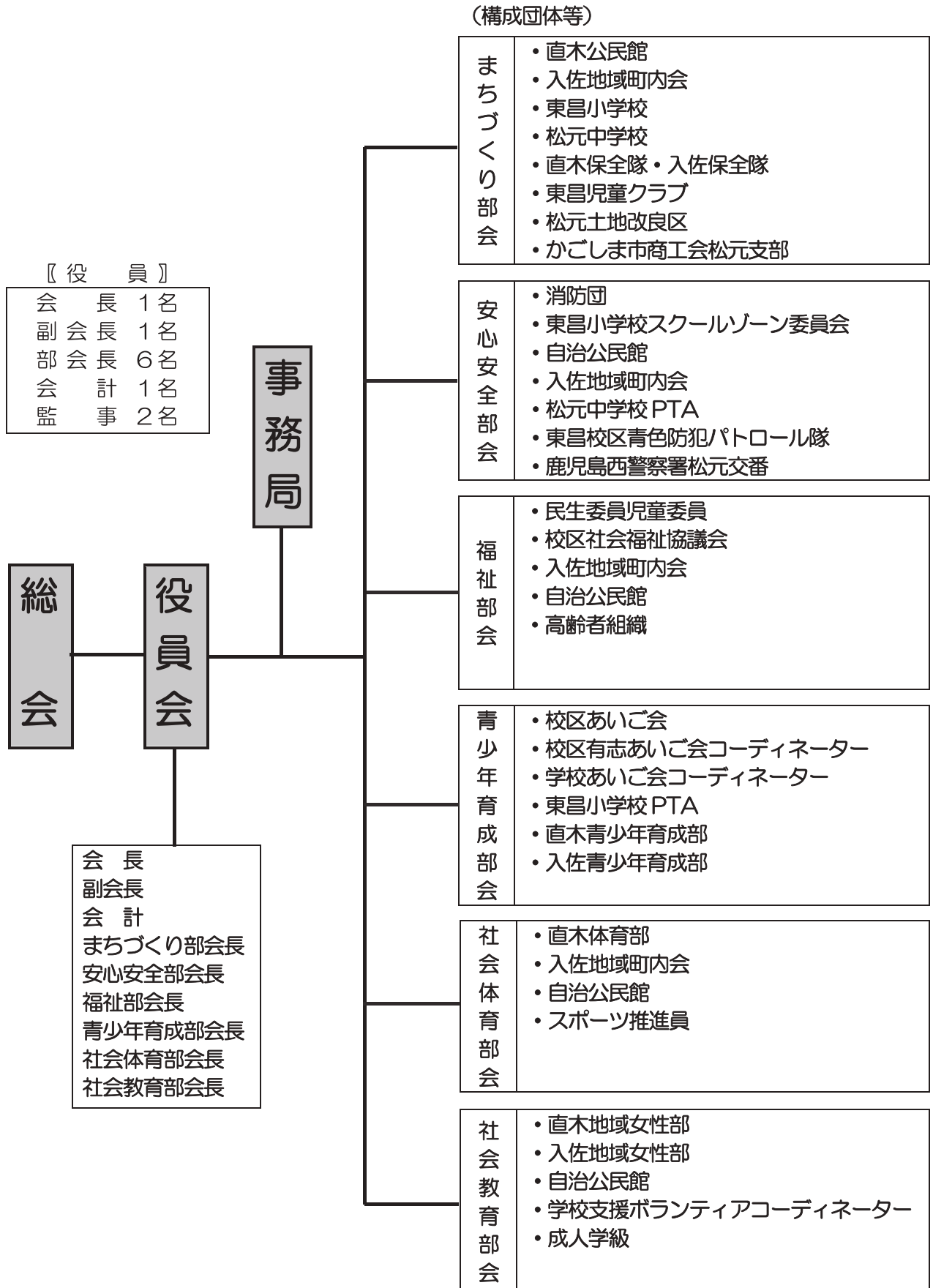
古くから地域のまとまりが強く、農作業等の仕事に勤勉であったことで知られているが、近年は農家の減少とともに少子高齢化が急速に進んでいる。

合併前は直木地域公民館と入佐地域公民館を柱に 15 の自治公民館でコミュニティづくりや地域課題解消が進められてきたが、合併を機に校区を中心として校区内の各組織構成による東昌校区まちづくり協議会で、笑顔があふれ安心安全で活力あるまちづくりの取り組みが進められている。

II 校区の位置



Ⅲ まちづくり協議会の組織体系図



IV まちづくりの目標・基本方針

1 目 標

『笑顔と強い絆でつなぐ 緑豊かな 東昌』

東昌は、世帯数550戸の小規模校区ですが、住民の絆は強く住み良い校区にするために、みんなで様々な活動を積極的に取り組んでいます。

また、緑豊かな自然に囲まれた恩恵を活かしながら日々の生活が営まれており、いつまでも豊かな地域資源を守り続けたいと思っています。

このため、これまでの伝統を活かしながら、さらにみんなの笑顔があふれ活力ある緑豊かな東昌を目指し、まちづくりの目標を『笑顔と強い絆でつなぐ 緑豊かな 東昌』とします。

2 基本方針

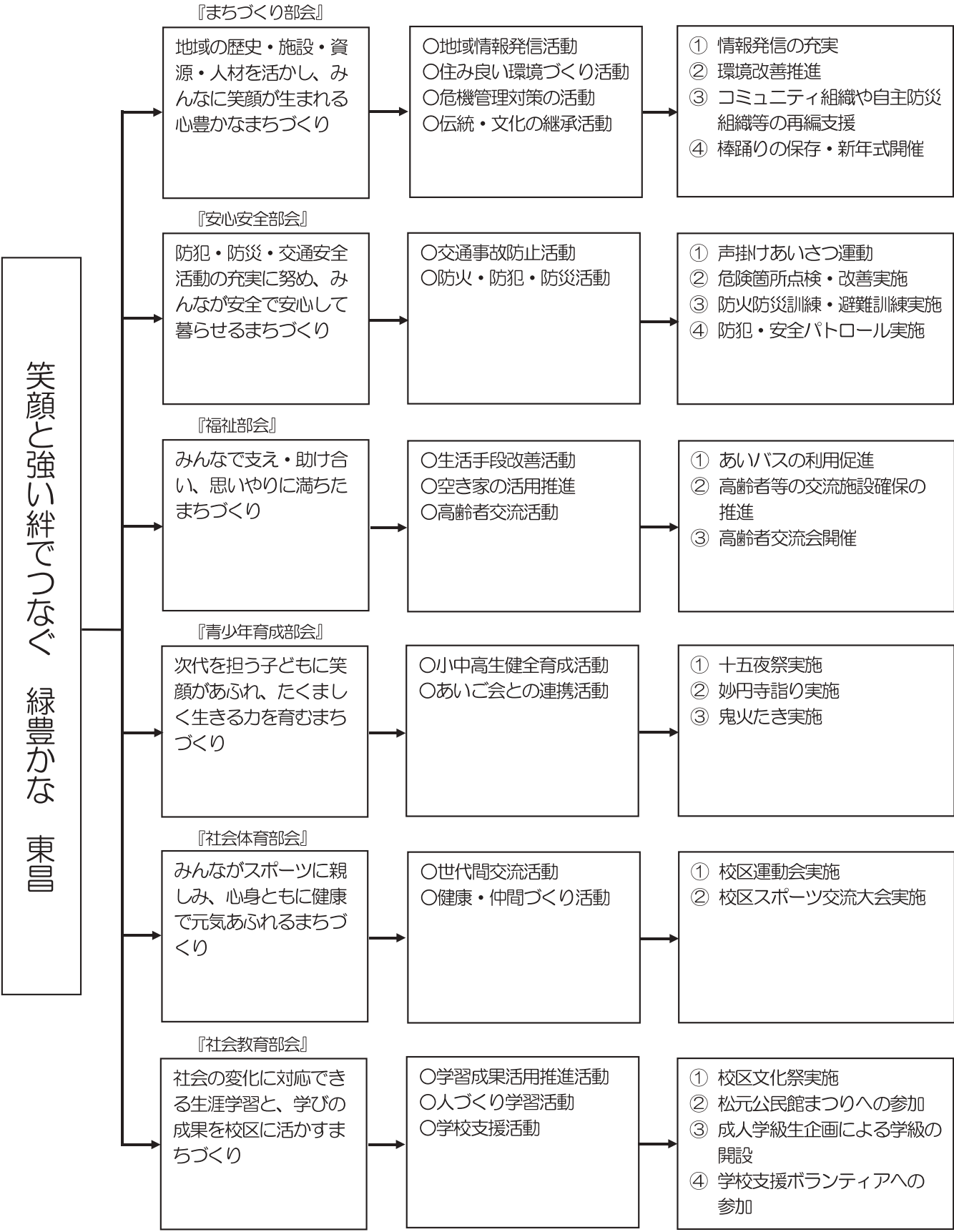
部 会 名	基 本 方 針
まちづくり部会	地域の歴史・施設・資源・人材を活かし、みんなに笑顔が生まれる心豊かなまちづくり
安心安全部会	防犯・防災・交通安全活動の充実に努め、みんなが安全で安心して暮らせるまちづくり
福 祉 部 会	みんなで支え・助け合い、思いやりに満ちたまちづくり
青少年育成部会	次代を担う子どもに笑顔があふれ、たくましく生きる力を育むまちづくり
社会体育部会	みんながスポーツに親しみ、心身ともに健康で元気あふれるまちづくり
社会教育部会	社会の変化に対応できる生涯学習と、学びの成果を校区に活かすまちづくり

V 校区の現状課題と改善策

部会	現 状 と 課 題	改 善 策
まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> ① 校区への転入世帯はあるものの、若い世代の転入は少なく高齢化率は増加傾向にある。 ② 公的交通手段はあいバスのみとなっており、幹線道路も未整備箇所がある。 ③ 校区内の治安は落ち着いて問題等はほとんどないが、災害時の対応や防犯面など、安心・安全への対策が望まれている。 ④ 魅力的なまちづくりを進める中で、空き家や荒廃農地の増加により生活環境面への影響と地域の活力低下が危惧される。 ⑤ 無形文化財である入佐棒踊りが現存する中、若い世代が減少し地域に残る文化や伝統芸能の継承が難しくなっている。 ⑥ 伝統芸能の棒踊りを今後も継承する必要があると感じている校区民は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 転入者の増加につながる地域の魅力を伝える情報発信の充実に取り組む。 ○ 通勤通学の利便性や交通安全を高めるため、道路整備に向けた関係機関等との連携を積極的に進める。 ○ 校区住民の連帯や活力、安心・安全・防災を推進するため、活動組織の再編を支援する。 ○ 入佐棒踊り保存会や小・中学校・関係組織と連携し、校区に残る無形文化財の棒踊りの継承を進める。
安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ① 病院や買い物等、公的交通機関はあいバスのみで、自家用車等で移動する住民が8割近くいる。 ② 校区内の治安は落ち着いているが、1人世帯の増加で空き巣被害や交通事故等への不安もある。 ③ これまで地震や台風などの自然災害はほとんどないが、災害発生時の避難に不安がある。 ④ 防火訓練は実施されているが、台風や地震など自然災害を想定した避難訓練は行っていない。 ⑤ 子どもたちの登下校時や高齢者の見守り活動は行っているが、さらなる活動の充実が望まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区全体で声掛けやあいさつ運動を日常的に取り組み、防犯や交通安全への意識向上を図る。 ○ 校区内の危険箇所解消に向け、現地確認活動を通して、関係機関と連携した取り組みを進める。 ○ 校区民みんなが参加する防火訓練や避難訓練等を実施する。 ○ 青色防犯パトロール隊による校区内の安心安全や見守り活動の取り組みを継続する。
福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ① デイサービス施設等の送迎サービスはあるが、医療機関へのサービスはなく通院等に苦慮している高齢者は多い。 ② 自治公民館や集会所等の施設はあるが、高齢者等がいつでも自由に集える場やふれあいの機会が少ない。 ③ 近隣住民間でのあいさつや世間話でのつながりを深めるための交流が少なくなっている。 ④ 悩みや不安に関する相談先は家族や親戚、親しい友人・知人がほとんどで、行政等への相談はあまりない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の足としてのあいバスの利用についての取り組みや運行の改善に取り組む。 ○ 空き家を活用した高齢者等の交流施設確保のモデル的な取り組みを進める。 ○ 隣近所の付き合いや高齢者同士の交流を深めるため、一緒に集う交流会の開催を企画・運営する。

部会	現 状 と 課 題	改 善 策
青少年育成部会	<p>① 校区あいご会の組織があり、年間活動計画に沿って運営されているが、校区民全体への理解度は低い。</p> <p>② 子どものいない世帯は、あいご会員でないという認識の方が約半数を占めている。</p> <p>③ 次代を担うリーダー育成活動を進めているが、高校生クラブの結成までには至っていない。</p> <p>④ 小学生や中学生の半数近くは、「家の近くにお店がなく不便」「遊び場が少ない」と感じている。</p>	<p>○ 校区民にあいご会組織のしくみや活動への参加を周知するための広報活動を進める。</p> <p>○ 校区に残る伝統行事の十五夜祭や鬼火たきの実施。また、県の三代行事である妙円寺詣りの実施はあいご会と連携して行う。</p>
社会体育部会	<p>① スポーツイベントに参加し、仲間づくりやふれあいを求めている校区民は多いが、現在実施の校区運動会やグラウンドゴルフ大会等への参加者は少ない。みんなが親しみ参加しやすいスポーツ大会への改善は必要となってくる。</p> <p>② 校区内に小学校体育館やウォーキングコースなどは設置されているが、気軽に利用できる身近なスポーツ施設がない。</p>	<p>○ 世代間交流と誰もが参加できる校区運動会を小学校運動会に併せ開催し、住民が参加しやすい競技内容への改善を進める。</p> <p>○ グラウンドゴルフやニュースポーツ等のスポーツ交流大会の実施時期や内容を見直し、健康づくりや仲間づくりの取り組みを進める。</p>
社会教育部会	<p>① 校区文化祭の毎年開催を8割の住民が希望しているが、内容の改善を求める意見は多い。しかし、発表や作品展示に応募する校区民は少ない。</p> <p>② 成人学級を年10回開講しているが、参加する学級生は限られており、参加者募集や講座内容の周知方法の改善が必要となっている。また、日々の仕事の理由から活動への関心が薄れて来ている。</p> <p>③ 学校支援ボランティアは、活動の趣旨が理解され登録者数は増加しつつある。歴史を知る人材や昔の技術を知る人材の把握は、小学校の教育活動の支援や地域の教育向上にも繋がり一層の取り組みが必要である。</p>	<p>○ 校区文化祭の発表や展示協力者の把握に努めるとともに、積極的な広報活動で誰もが参加しやすい内容の変更に取り組む。</p> <p>○ 成人学級に興味や関心を示す講座や校区文化祭等への作品展示ができる講座内容を企画・運営していく。</p> <p>○ 広報紙や日常生活の中で人材の把握に努め、登録者増と小学校の教育活動への支援を積極的に進める。</p>

Ⅵ まちづくりの活動体系図



Ⅶ まちづくりの各部会活動計画

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	備考		
							4	5	6	7			8	
1		地域情報発信活動	情報発信の充実	まちづくり部会	広報紙や防災行政無線等を活用し情報発信に努める。 また、見やすく親しみやすい広報紙を年3回以上発行し、全世帯に配布する。	協議会の活動状況を発信することにより、まちづくり協議会への理解が深まり、協議会活動が活性化される。	○	○	○	○	○	○	継続	
2	地域の歴史・施設・資源・人材を活かし、みんなに笑顔が生まれる心豊かなまちづくり	住み良い環境づくりの活動	環境改善推進	まちづくり部会 安心安全部会	雑木や荒廃地の把握、県道、市道の生活路線の現状を調査し、行政や関係団体と連携して改良を進める。	校区の美観を保ち、主要生活道路の整備を進めることで、快適で安全な生活環境が推進される。	○	○	○	○	○	○	継続	
3		危機管理対策の活動	コミュニティ組織や自主防災組織等の再編支援	まちづくり部会	各種組織の再編を必要に応じて支援を行う。	地域現状に即した組織再編の取り組みを支援することで、活動の活性化が推進される。	○	○	○	○	○	○	新規	
4		伝統・文化の継承活動	棒踊りの保存	まちづくり部会	保存会、小学校等と連携し、棒踊りの保存伝承活動を進める。	郷土の文化遺産としての保存活動を通して愛郷心や校区民の絆が深まり、地域の活性化につながる。	○	○	○	○	○	○	継続	
5			新年式開催	まちづくり部会	小・中高生や校区民が一堂に集い、新年を祝う会を開催する。	子どもから大人まで一緒に新年を迎えることで、新たな一年の抱負と相互の連帯が図られる。	○	○	○	○	○	○	継続	
6	防犯・防災・交通安全活動の充実に努め、みんなが安全で安心して暮らせるまちづくり	交通事故防止活動	声掛けあいさつ運動	安心安全部会	日常的な声掛けやあいさつを通して防犯等の意識を高める。	あいさつや声掛けの取り組みで安心安全に対する意識が高まる。	○	○	○	○	○	○	新規	
7		防火・防犯・防災活動	危険箇所点検・改善実施	安心安全部会 まちづくり部会	校区内の危険箇所調査を実施し、改善を進める。	校区内の危険箇所を改善することで事故や災害のない校区づくりが推進される。	○	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規・継続	備考
							4	5	6	7	8		
8	防犯・防災・交通安全活動の充実に努め、みんなが安心して暮らせるまちづくり	交通事故防止活動	防火防災訓練・避難訓練実施	安心安全部会 福祉部会	火災や自然災害などに対する学習や訓練を実施する。	学習や訓練を行うことで火災や災害に備えた迅速な対応が進められる。	○	○	○	○	○	新規	
9		防犯・防犯・防災活動	防犯・安全パトロール実施	安心安全部会	青色防犯パトロール隊が、一年を通して校区内の児童生徒の事故防止や防犯につながる見守りを行う。	定期的な巡回パトロールにより、交通事故や不審者による犯罪防止につながる。	○	○	○	○	○	継続	
10		生活手段改善活動	あいバスの利用促進	福祉部会	利用しやすいあいバス運行改善に取り組むとともに、広報紙等によるあいバスの利用促進を進める。	あいバス利用への意識が高まり、日常的な利用増が望まれる。	○	○	○	○	○	継続	
11	みんなで支え・助け合い、思いやりに満ちたまちづくり	空き家の活用推進	高齢者等の交流施設確保の推進	福祉部会 まちづくり部会	空き家が増加している中で、高齢者が気軽に集える交流の場の確保に取り組む。	高齢者等が気軽に集うことで、孤独感の解消や健康維持にもつながる。	○	○	○	○	○	継続	
12		高齢者交流活動	高齢者交流会開催	福祉部会	高齢者が集い学習や親睦を深める交流会を年1回開催する。	高齢者の意識向上や交流を深める場をつくることで、仲間づくりや明るく生きる意欲が高められる。	○	○	○	○	○	継続	
13		小中高生健全育成活動	十五夜祭実施	青少年育成部会	伝統行事の十五夜祭を通して、郷土文化の理解を深める。	十五夜の意義や郷土文化への理解が深められる。	○	○	○	○	○	継続	
14	次代を担う子どもに笑顔があふれ、たくましく生きる力を育むまちづくり	あいご会との連携活動	妙円寺詣り実施	青少年育成部会 安心安全部会	鹿児島県三大行事の妙円寺詣りに、多くの校区民が徳重神社まで歩き昔の歴史を学ぶ。	妙円寺まで徒歩で参加することで、昔の歴史への理解やお互いのふれあいが深まり、強い心や愛郷心が育つ。	○	○	○	○	○	継続	
15			鬼火たき実施	青少年育成部会 安心安全部会	校区に残る伝統行事の鬼火たきを行い、校区や家庭の安全、家族の健康などを願う。	準備から当日まで子どもや大人がともに鬼火たきに取り組むことで、伝統文化やふるさとへの意識が高まり、校区民の絆も深まる。	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	備考	
							4	5	6	7			8
16	みんながスポーツに親しみ、心身ともに健康で元気あふれるまちづくり	世代間交流活動	校区運動会実施	社会体育部会	小学校の運動会に合わせ、誰でも参加できる競技種目を設け、校区区民総参加の運動会を実施することで、集落間の連帯を深める。	誰でも参加できる運動会を開催することで、集落間や参加者相互の交流が深まり校区の活性化につながる。	○	○	○	○	○	継続	
17		健康・仲間づくり活動	校区スポーツ交流大会実施	社会体育部会	みんなが参加するスポーツ交流大会を開催し、お互いのふれあいや参加者の健康づくりを推進する。	グラウンドゴルフやニュースポーツ等を通して、交流の楽しさや仲間づくりが図られ、健康づくりへの機運も高まる。	○	○	○	○	○	継続	
18		学習成果活用推進活動	校区文化祭実施	社会教育部会	校区にある各種資源の周知や成人学級、自主学習グループで学んだ成果等を披露・展示する総合的な文化祭を企画・運営する。	校区の歴史や文化、各種学習の成果を披露展示する場を設けることで、地域資源やグループ活動などが周知され、地域の活性化につながる。	○	○	○	○	○	継続	
19	社会の変化に対応できる生涯学習と、学びの成果を校区に活かすまちづくり		松元公民館まつりへの参加	社会教育部会	松元公民館が主催する松元公民館まつりに展示作品等を出展する。	松元公民館まつりへの出展に取り組みすることで幅広い作品にふれ、学びの意欲が高まり文化の向上につながる。	○	○	○	○	○	継続	
20		人づくり学習活動	成人学級生企画による学級の開設	社会教育部会	参加者で企画する社会変化の学習や新たな知識習得・創作活動等に取り組み、魅力ある学級開設を目指す。	社会変化への対応や新たな知識・技能等が身に付くとともに、学習成果が地域づくりにも活かされる。	○	○	○	○	○	継続	
21		学校支援活動	学校支援ボランティアへの参加	社会教育部会	学校支援ボランティア登録の取り組みに協力し、学校支援ボランティア活動を積極的に支援する。	長年培った大人の知識や技能を学校教育に活かすことで、児童とのふれあいが深まるとともに、ボランティア精神の向上や地域の教育力にもつながる。	○	○	○	○	○	継続	

Ⅷ 関係資料

Ⅷ-1 第2期まちづくりプラン提言

部会	番号	事業名	事業に対する提言
まちづくり部会	1	広報紙の充実	①各部会の事業活動、身近で関心のある活動や、相談ごと等を掲載する。 ②各部会活動報告と併せ、校区民に周知・啓発したい事項を取り入れる。 ③校区民が関心を示すような内容や紙面作りに努める。 ④防災行政無線を活用する。
	2	環境調査実施	①危険箇所の調査内容や経過報告が校区民に届く活動をしてほしい。 ②通学路の繁茂の伐採を行政に要望しているが、実現が困難である。
	3	松元ダム等自然体験推進事業	①松元ダムの存在が薄く、子どもたちにもっと知る機会があったら良いと思う。 ②農業拡大と水資源確保を子どもたちに伝えるには、当分の間場所に危険がある。 ③具体的な計画が分からない為、未実施であるので廃止でも良いと思う。
	4	棒踊りの保存	①子どもの数も減ってきているので、卒業生や青年など幅広く声掛けし集める。 ②伝承してほしい活動だと思うが、子どもたちへの負担を心配している。 ③まち協・小学校・棒踊り保存会が連携して活動を進める。
	5	校区新年式	①元日以外の開催で校区民の参加も増え、参加しやすくなった。 ②小中学生と校区民との交流を深めるための工夫、改善が必要である。 ③新年式の意義を再度考え、全校区民が参加するような広報が必要と思う。
安心安全部会	6	交通安全講習会	①関係機関と連携し、交通安全や詐欺防止の講習を短時間で行う。 ②免許返納を考えている高齢者に対する講習会があるとありがたい。 ③高齢化率も高く、各会合等にこちらから出向くなど工夫が求められる。
	7	危険箇所点検	①改善箇所は、校区民に情報を発信し、事業の必要性をアピールする。 ②部会で地域の情報把握と分析を行う。 ③情報の共有化と関係機関との連携が必要である。
	8	防災訓練・避難誘導訓練	①各自治会・町内会で、避難経路・避難場所等の把握が必要となり、まち協で助言してほしい。 ②避難補助が必要な人のリスト作成と補助者の確認が必要である。
	9	防犯・安全パトロール	①青パト隊との連携強化。 ②青パト隊の年間活動の継続。 ③日常的な声掛け、あいさつの励行。
福祉部会	10	あいバス運行コースの改善	①運行の見直しと利用者増の取り組みを行う。 ②あいバス利用実態調査及び住民の要望等を取りまとめる。 ③あいバスの必要性を考え、運行日や路線の一部見直しを再検討する。
	11	住民交流施設の整備	①空き家を集会所に使用する必要性と管理体制を明確にしてほしい。 ②住民のニーズ、管理、リフォーム、財源等検討する必要がある。 ③5年毎に空き家調査とマップの見直しを実施する。 ④空き家を活用した、交流施設確保の取り組みを行う。
	12	高齢者団体交流会	①2年に1回校区内全体の高齢者交流会を開催する方向で検討する。 ②高齢者団体の交流を毎年開催する。(各団体の発表会、食事会等) ③交流会を活用した交通安全、防犯・防火・防災等の周知。 ④自主活動グループ会の発足推進。

部会	番号	事業名	事業に対する提言
青少年育成部会	13	校区十五夜祭	①いろんな行事で子どもたちの負担が大きい様を感じる。 ②もう少し幅広い年齢層の参加者が出てきてほしい。 ③校区民の多くが参加し、交流出来る様声掛けをしてほしい。 ④その時の状況において、企画立案（場所、内容等）を行い検討する。
	14	妙円寺詣り	①他の行事との兼ね合いに合わせて、日程調整を検討すべきである。 ②子どもたちの負担軽減の為、もう少し幅広い年齢層に参加を呼び掛ける。 ③新型コロナウイルス感染防止策を考えた実施要項を検討する。
	15	鬼火たき	①新年式と同日開催で、参加者が増え、参加者の気持ちの高揚に繋がる。 ②お餅の焼き方等火気の直近での安全対策について再度検討する。 ③準備作業の段階から子どもたちも一緒に取り組んだほうが良いと思う。
	16	地域行事への協力	①地域公民館や町内会が主体となって活動している為、地域に任せる。 ②各单位あいご会毎に取り組みが出来ており、廃止でも良いと思う。 ③校区の一本化。
社会体育部会	17	校区運動会	①競技種目の見直し。（校区民が誰でも出来る種目） ②校区民総参加の運動会となるよう工夫する。 ③幅広い年齢層（中、高生、青壮年）の参加を募る。
	18	ソフトバレーボール大会	①開催時期（例年3月）の検討。 ②児童・生徒と保護者だけでなく、校区民が参加出来るような工夫をする。 ③参加チームが年々少なく、参加者も限られている。
	19	グラウンドゴルフ大会	①夏の暑い時期でなく、もっと涼しい時期に開催したらいいと思う。 ②初心者でも安心して参加できる広報の仕方を検討してほしい。 ③中学生以上のスケジュール調整が難しい。
	20	親子・地域でのラジオ体操	①第1期事業では実施していないので廃止するか、他の事業と合わせて実施。 ②子どもたちは夏休み期間中地域で実施している。 ③校区全体で可能な限り実施が望ましい。
社会教育部会	21	校区文化祭	①個人や松元公民館自主学习グループ受講生等の活用。 ②舞台、展示発表は、具体的情報（舞踊、ピアノ、工芸等）を収集し依頼する。 ③幼、小、中学校との連携を深め、展示物の充実を図る。
	22	松元公民館まつりへの参加	①舞台、展示発表は、具体的情報（舞踊、ピアノ、工芸等）を収集し依頼する。
	23	成人学級の開設	①年齢制限、男女関係なく参加できる学級なのでこのまま続けたい。 ②参加できる方を増やすため、回覧板以外の広報に努める。
	24	学校支援ボランティアへの支援	①子どもたちがとても楽しみにして喜んでくれる。 ②地域の方が気軽に学校に足を運んでもらえるよう広報紙等でお知らせする。

Ⅷ-2 第2期まちづくりプラン策定委員・活動経過

プラン策定委員（任期：令和2年9月～令和4年3月）

No	役職名	氏名	経歴等
1	委員長	九万田 辰二	まちづくり協議会長
2	副委員長	藤山 健	まちづくり協議会副会長
3	委員	大村 次男	まちづくり部会長（令和元年度）
4	委員	上野 輝	安心安全部会長（令和元年度）
5	委員	若松 純治	福祉部会長（令和2年度）
6	委員	森園 なほみ	青少年育成部会長（令和2年度）
7	委員	宮元 愛子	社会教育部会成人学級長（令和2年度）
8	委員	今村 浩二	有識者
9	委員	川原 正一	有識者
10	委員	馬込 保	有識者
11	委員	吉満 猛	有識者
12	事務局	原口 信博	まちづくり協議会事務局

令和2年度プラン策定活動経過

- 第1回プラン策定委員会 [9月25日(金)]
 - ◆第2期プラン策定委員会設置 ○役員・委員の選任
 - ◆第1期プランの総括
 - 事業の推進状況及び実施評価 ○役員会・部会の検証 ○協議会運営（予算・組織等）の検証
 - ◆第2期プラン策定内容の検討及び決定
 - 現状と課題 ○まちづくりの目標 ○事業計画 ○プラン策定のねらい等 ○校区の概要
 - 事業評価内容 ○資料等
 - ◆第2期プラン策定スケジュール（案）の検討及び決定
 - ◆事業評価及び調査依頼者（案）の決定
- ↓
- 第2回プラン策定委員会 [11月28日(土)]
 - ◆事業評価の集計結果の報告 ◆事業評価の分析、まとめ（案）◆協議運営の提言
 - ◆第2期プランづくりへの意見、要望等
- ↓
- 第3回プラン策定委員会 [3月6日(土)]
 - ◆第2期プランの提言の検討 ○第2回策定委員会及び専門部会の協議内容
 - ◆第2期プランの素案の検討 ○校区の現状と課題 ○目標・基本方針 ○活動の体系図
 - ◆令和3年度プラン策定スケジュールの検討

令和3年度プラン策定活動経過

- 第1回プラン策定委員会 [5月22日(土)]
 - ◆第2期プランに対する意見、提言書
 - ◆第2期プランの素案内容の検討
 - 校区の概要 ○校区の位置 ○まちづくりの目標・基本方針 ○校区の現状課題と改善策
 - 活動の体系図 ○まちづくりプラン(地域振興計画) ○組織体系図
 - ◆令和3年度プラン策定計画スケジュール(案)

- 第2回プラン策定委員会 [6月26日(土)]
 - ◆第2期プラン(案)の検討
 - 校区の概要 ○校区の位置 ○まちづくりの目標・基本方針 ○校区の現状課題と改善策
 - 活動の体系図 ○まちづくりプラン(地域振興計画) ○組織体系図
 - ◆第2期プラン関係資料(案)の検討
 - 校区の施設・史跡等 ○校区の世帯・人口・高齢化率 ○第2期プラン提言

- 第3回プラン策定委員会 [10月2日(土)]
 - ◆第2期プランの素案全体の確認(校正作業)

- 第3回専門部会 [11月14日(日)]
 - ◆第2期プラン全体の確認 ◆表紙、関係資料等の検討

- 第4回プラン策定委員会 [11月24日(水)]
 - ◆専門部会のプランに対する提案の検討 ◆校区民へのプラン概要版の回覧(意見等1/20締切り)
 - ◆第2期プラン最終案の検討及び冊子の編集確認

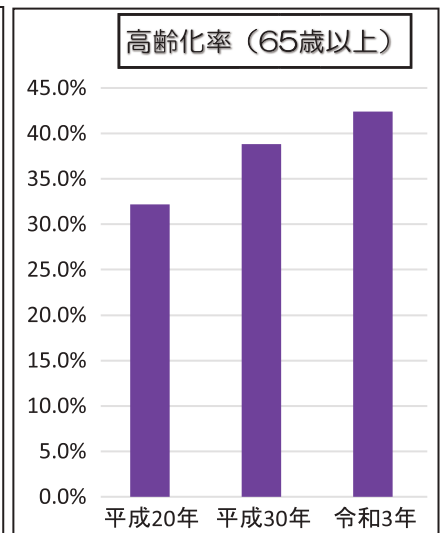
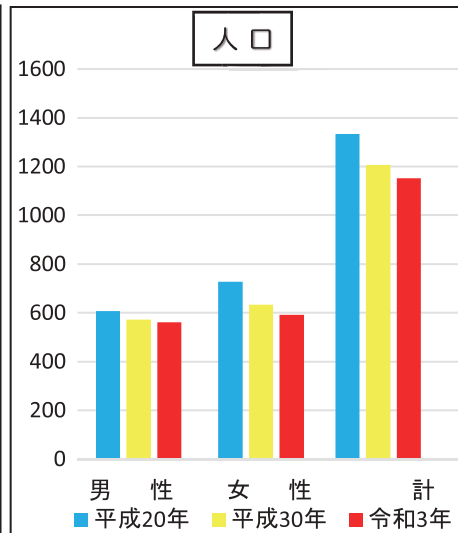
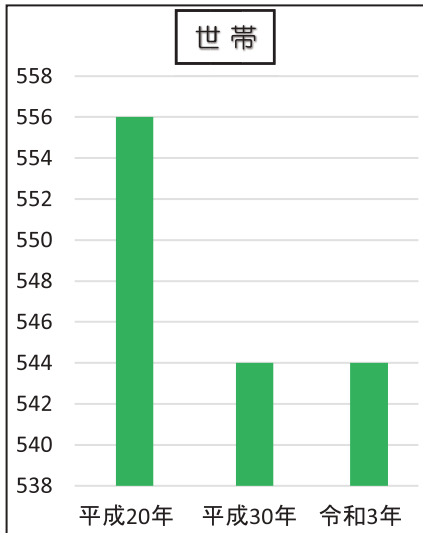
- 第5回プラン策定委員会 [1月28日(金)]
 - ◆校区民のプランに対する意見等の確認 ◆第2期プランの最終決定
- 印刷部数・印刷業者の決定
- 校区民等への冊子配布(3月末)

- 令和4年度定期総会開催

活動開始

Ⅷ－３ 校区の人口・世帯数・高齢化率

区 分	平成20年（3月末）	平成30年（4月1日）	令和3年（4月1日）
世 帯	556	544	544
男 性	606	573	561
女 性	728	634	592
計	1,334	1,207	1,153
65歳以上	429	468	489
高齢化率	32.2%	38.8%	42.4%



Ⅷ－４ 東昌小学校の学級・児童数

区 分	昭和40年（4月1日）	平成元年（4月1日）	令和3年（4月1日）
学 級	7	6	7
児 童 数	267	98	58

Ⅷ－５ 校区の自治組織

区 分	平成16年（合併前）	令和4年（4月1日）
直木地域公民館	1	1
自治公民館	9 下直木自治公民館、池田自治公民館、向原自治公民館、直木住宅自治公民館、山陰自治公民館、小中原自治公民館、山方自治公民館、東昌寺自治公民館、直木西自治公民館	6 下直木自治公民館、池田自治公民館、向原自治公民館、直木住宅自治公民館、山陰自治公民館、上直木自治公民館
入佐地域公民館	1	0
自治公民館	6 上之前自治公民館、上之東自治公民館、上之西自治公民館、大下自治公民館、下原自治公民館、高田自治公民館	0
町内会	0	1 入佐地域町内会

Ⅷ-6 校区の主な施設・史跡・伝統芸能等

○学校、コミュニティ施設



東昌小学校



東昌児童クラブ



校区公民館



直木公民館



下直木公民館



入佐営農研修センター

○郵便局、消防分団



直木簡易郵便局



消防分団 (直木)



消防分団 (入佐)

○農業関連施設、公園



松元ダム



ファームボンド (直木)



ファームボンド (入佐)



松元農畜産物処理加工センター



土地改良区



お伊勢岡公園 (入佐)

○史跡、神社



入佐の田の神



東照寺跡（直木）



仙寿院の跡（入佐）



鎮守神社（直木）



熊鷹神社（直木）



大鳥神社（入佐）

○伝統芸能、伝統行事



入佐棒踊り



東昌こども棒踊り



鬼火たき



十五夜祭



校区新年式



妙円寺詣り

○大樹、景観



銀杏の木（直木）



せんだんの大樹（東昌小）



松元ダム湖

「ふるさと」東昌の未来



名前（原口 昊大）

未来の東昌校区は、自然に囲まれ、茶畑が広がった豊かな町になっていると思います。緑な茶畑の中から、赤い未来の茶つみ機がおいしいお茶の葉をとっている絵がうかびます。そして未来の東昌小学校はとても仲良く助け合う、健康な生徒が集まりました。素敵なお学校になっていると思います。ぼくもこの東昌校区の未来を守っていききたいです。

「ふるさと」東昌の未来



名前(山元 楓 大川 畑 幸 暉)

ぼくは、東昌小学校がもっとよりよい
学校になってほしいです。なぜかと言おうと
今はすごく自然がゆたかみんなの笑顔、
がいっぱいだからもっと楽しめる
学校になってほしいです。ぼくはみんなで
遊ぶとギガが一番楽しいです。だから
来年の一年生などが来たときにも
みんなで遊べたらうれしいです。これが
りの150周年などがすごく楽しみです。
だから東昌小学校がもっとよりよい学校
になってほしいです。